

(仮称) 遠州広域行政推進会議 次第

日 時：平成23年4月14日（木）午後3時
場 所：浜松市役所 本館5階 庁議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議題

(1) (仮称) 遠州広域行政推進会議の設置について

(2) 東日本大震災に係る広域連携による支援について

(3) その他

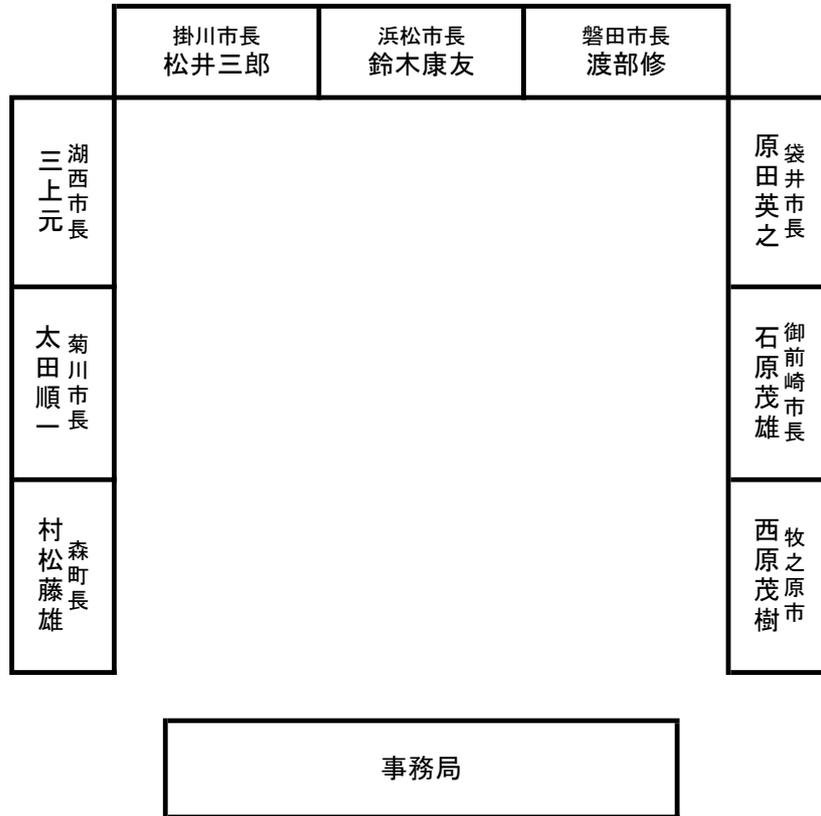
4 閉 会

(仮称)遠州広域行政推進会議 座席表

日時:平成23年4月14日(木)

午後3時～

会場:浜松市役所 庁議室



出入り口

報道席	報道席	随 行	随 行	随 行	随 行
報道席	報道席	随 行	随 行	随 行	随 行
報道席	報道席	随 行	随 行	随 行	随 行

遠州広域行政推進会議設置要綱（案）

（趣旨）

第1条 地域主権社会の形成においては、基礎自治体が単独実施するには非効率な事務について、基礎自治体の連携により、圏域として互いに補完し住民サービスを提供することが必要であるとの認識のもと、広域的行政課題について、行政コストの低減や行政サービスの向上の観点などから、共同処理による対応や国・県への提言について協議、検討する。

（名称）

第2条 本会議は「遠州広域行政推進会議」（以下「推進会議」と称する。

（組織）

第3条 推進会議は、浜松市長、磐田市長、掛川市長、袋井市長、湖西市長、御前崎市長、菊川市長、牧之原市長および森町長で構成する。

（運営）

第4条 推進会議に座長を置く。

- 2 座長は、前条に掲げる者の互選により選出する。
- 3 座長は、推進会議を招集する。
- 4 推進会議に必要な経費は、推進会議を組織する各地方公共団体の負担とする。
- 5 その他、推進会議の運営に必要な事項は座長が定める。

（庶務）

第5条 推進会議の庶務は、座長の属する構成市町の広域行政担当課に置き、他の構成市町の広域行政担当課と協力して処理する。

附 則

この要綱は平成〇年〇月〇日から施行する。

東日本大震災に係る8市1町の支援内容について

資料2

	人的支援			物的支援	受入体制 (受入実績)	公費による義援金	備考
	静岡県現地支援調整本部への 職員派遣	全国市長会、町村長会からの 要請に基づく職員派遣	その他(予定されているものを含む)				
浜松市	第3～10陣 各1名	8人(大船渡市)	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県全域(総務省消防庁からの要請) 緊急消防援助隊6隊26人(4月1日をもって終了) 大型除染システム資機材搬送取扱指導1隊5名 ・福島・岩手県内(総務省消防庁からの要請) 消防ヘリ1隊6人 ・仙台市(国土交通省からの要請) 下水目視調査2班6人 ・石巻市(日本水道協会静岡支部からの要請) 応急給水2班7人 ・岩手県大船渡保健所管内(陸前高田市)(厚生労働省からの要請) 保健師による健康相談(保健師等のべ30人派遣) ・岩手県大船渡市(大船渡市からの要請) 浜松市清掃公社6名(バキューム車4台×3台) ・宮城県(厚生労働省からの要請) 児童福祉司1名、児童心理司1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市(20大都市災害時相互応援協定) 毛布3,500枚、アルファ化米14,800食、サバイバルフーズ12,000食、紙おむつ(大人用)42,400枚、飲料水4,200リットル ・全国知事会からの要請による支援 仮設トイレ100台、簡易トイレ100台、毛布2,000枚 排便袋セット20,000枚(1箱100回分×200箱) ・消防庁からの要請による支援 毛布3,000枚 ・埼玉県春日部市(全国知事会) フードバック2,600枚、飲料水用布袋18,000枚 ・仙台市、岩手県(市民からの支援物資) 紙おむつ等ダンボール4,850箱分 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅 82戸(12戸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公費:未定 (H23.4.13現在) 	被災地・被災者支援センター 4月5日設置
磐田市	第3、6、9陣 各1名	予定していない	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県いわき市、相馬市、(総務省消防庁からの要請) 緊急消防援助隊27隊74名(3/11～4/1) ・宮城県七ヶ浜町(日本水道協会からの要請) 応急給水支援隊4班12名(3/18～3/24、3/23～3/29、3/28～4/3、4/2～4/8) ・宮城県阿武隈下流域下水道(日本下水道協会からの要請) 下水道被害調査1名(4/5～4/11) ・岩手県宮古市、山田町(全国社会福祉協議会関東ブロックからの要請) 社会福祉協議会職員3名(3/23～) ・岩手県宮古市(静岡県からの要請) 医療救護チーム派遣(医師3名、看護師2名、事務員1名)(4/11～4/15) ・岩手県山田町(静岡県健康増進課からの要請) 健康増進課保健師1名(4/17～4/21) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国知事会からの要請(静岡県経由) アルファ化米5,000食、飲料水168リットル 毛布2,000枚、簡易トイレ40台 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅 2戸(0戸) ・雇用促進住宅 59戸(0戸) ・磐田市立総合病院 透析患者10名(0名) 救急患者 内科系10名(0名) 外科系10名(0名) 小児科10名(0名) 外来患者減免対象者(1名) ・高齢者関係施設 要援護者55名(0名) ・学校 小学校(3名) 中学校(2名) (H23.4.13現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公費0円 (H23.4.13現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社経由 3/17磐田市職員義援金325万円寄付 3/22磐田市職員募金活動105万円寄付 3/22軽トラ市義援金募集67万円寄付 ・自治労復興支援ボランティア (自治労静岡県本部からの要請) 健康増進課主任1名(4/16～4/24) ※ボランティア休暇を取得し参加
掛川市	第4、5、8陣 各1名	1人(岩手県内)	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県相馬市、いわき市(総務省消防庁からの要請) 緊急消防援助隊5隊28人 派遣期間3/11～3/27までの17日間 ・宮城県角田市、山元町(日本水道協会からの要請) 緊急給水支援活動4班8人 派遣期間3/19～3/31までの13日間 ・宮城県仙台市(静岡県健康福祉部からの要請) 保健師1人 派遣期間4/5～4/9までの5日間 ・岩手県山田町(静岡県健康福祉部からの要請) 保健師1人 5月予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国知事会からの要請(静岡県経由) 毛布1,000枚、簡易トイレ50基 ・全国知事会からの要請(静岡県経由) アルファ化米5,000食 ・岩手県奥州市(災害時応援協定締結) 医療資機材53品目医薬品3品目他(1便・2便) ・福島県相馬市(朝徳サミット文化交流都市) 米7.4トン、掛川茶ペットボトル100ケース、毛布100枚、マスク31,000枚、生理用品6箱、衣類10箱など17品目 ・岩手県大槌町 下着35箱、学用品22箱 ・岩手県山田町 米733kg、飲料水30箱、下着35箱 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅等 9戸(6戸) ・雇用促進住宅 16戸(0戸) ・企業社員住宅 4戸(0戸) ・アパート 33室(0室) ・一戸建 14戸(0戸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公費:未定 (H23.4.12現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援対策本部設置(H23.3.12) ・日本赤十字社義援金3,800万円(概算、H23.4.14現在) ・掛川茶商青年団による湯茶サービス実施及び支援物資搬送 岩手県大槌町、山田町 ・掛川市社会福祉協議会 毛布411枚を県ボランティアセンターへ送付 ・災害ボランティアセンター掛川 掛川駅、アビタで募金活動130万円 ・トリプインターナショナルジャパン(株)による支援物資搬送、宮城県石巻市へ 下着、婦人肌着100箱 ・掛川市社会福祉協議会 中央共同募金62万円
袋井市	第4、8陣 各1名	予定していない。 ※全国市長会からの「人的支援のための職員派遣依頼(平成23年3月30日付発行第12号)」については、次の主旨にて回答。 「袋井市では、すでに3月12日～4月7日の期間で、宮城県釜石市をはじめ東北地方各市に職員24人(水道職員等除く)を派遣。今後も釜石市を中心に、市独自で継続して職員を派遣予定であり、これらの実績を考慮いただき、特段の理解と配慮を願いたい」	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県内(総務省消防庁からの要請) 緊急消防援助隊7隊40名 ・宮城県七ヶ浜町 応急給水活動2隊4名 ・宮城県南三陸町(日本看護協会からの要請) 看護活動3名 ・宮城県仙台市(静岡県健康福祉部からの要請) 健康支援活動1名 ・岩手県岩沼市、釜石市ほか 救援物資輸送等6隊22名 ・岩手県陸前高田市 炊き出し活動2隊5名 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国知事会からの要請による支援 毛布1,000枚、簡易トイレ50基 ・栃木県大田原市(五街道どまん中防災協力宣言) ブルーシート300枚 ・岩手県岩沼市 簡易トイレ10台、携帯カイロ630個、ガスボンベ(10kg)10本、コンロ20台、カップ麺240個、水(500ml)1200本、毛布50枚、タオル400枚、使い捨てマスク38,000枚、使い捨て食器類(紙皿、紙コップ、割箸)など ・岩手県釜石市 米680kg、カップ麺260、缶詰1,000個、カセットコンロ48台、カセットボンベ144本、小児用おむつ5,000枚、大人用おむつ1,600枚、生理用品5,900枚、お尻ふき、使い捨て食器類(紙皿、紙コップ、割箸)、トイレトーパーパー、ティッシュペーパー、ウェットティッシュなど ・岩手県陸前高田市 米2,000kg、卵250kg、使い捨て食器類(紙皿、紙コップ、割箸)など 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅 1戸(0戸) ・再開発住宅 6戸(5戸) ・雇用促進住宅 112戸(0戸) ・民間住宅 33戸、25室(0戸、0室) ・病院医師住宅 9戸(1戸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公費:未定 (H23.4.12現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・H23.3.15「袋井市東日本大震災復旧支援本部」設置 本部長(市長)、副本部長(副市長)、職員動員班、物資支援班、生活支援班、支援金班、住宅支援班、教育支援班を組織し、支援活動を実施 ・NPO団体ピックアップ(災害時応援協定先)からの要請により救援物資の提供及び災害支援を実施 救援物資:エマージェンシーテント(40張)、防災テント41張、毛布(100枚)、間仕切り(40組)、アルファ米(1,000食)ほか ・NPO法人静岡県災害支援隊との協働による支援活動 市内事業所所有の炊飯車による炊き出し支援活動 ・市内企業からの申し入れによる物資提供 赤外線灯油ヒーター50台(岩手県釜石市、岩沼市) ・市職員互助会からの物資提供 缶詰3,030個(岩手県釜石市)
湖西市	第6、10陣 各1名	予定していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県内(総務省消防庁からの要請) 緊急消防援助隊7隊35人 ・宮城県利府町(日本水道協会静岡支部からの要請) 応急給水活動3班6人 ・岩手県山田町(静岡県健康福祉部からの要請) 保健師1人 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県登米市、大和町、EVエナジー宮城工場 粉ミルク150kg、おむつ27箱、介護用手袋2,000枚、食糧5,000食、カンパン1,680缶(浜名湖競艇企業段提供)、飲料水1,400リットル(うち、企業段提供840リットル) ・全国知事会からの要請(静岡県経由) 毛布1,000枚、仮設トイレ8基 ※予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅 7戸 ・雇用促進住宅 25戸 ・民間住宅(家賃補助) 127戸 ・高齢者関係施設 6施設17人 ・旅館ホテルの一時避難地 11施設(受入中1人) (H23.4.13現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公費:0円 (H23.4.13現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・義援金(日本赤十字社経由) 5,712千円(4/13) ・湖西市社会福祉協議会 義援金163万円(3/31) ・湖西市社会福祉協議会及び災害ボランティア支援 毛布750枚、支援金 ・災害ボランティア アルファ化米5,000食

	人的支援		物的支援	受入体制 (受入実績)	公費による義援金	備考	
	静岡県現地支援調整本部への 職員派遣	全国市長会、町村長会からの 要請に基づく職員派遣					その他(予定されているものを含む)
御前崎市	第4、9陣 各1名	予定していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県内(総務省消防庁からの要請) 緊急消防援助隊6人 延べ41人(第1～7陣) ※牧之原市御前崎市広域施設組合消防本部 ・岩手県・宮城県内(日本看護協会からの要請) 御前崎市立総合病院 看護師派遣 第1回看護師1名・第2回看護師2名 ・岩手県宮古市(県地域医療課からの要請) 御前崎市立総合病院 医療救護チーム派遣 医師2名・看護師2名・薬剤師1名・その他1名 ・仙台市若林地区(県健康増進課からの要請) 御前崎市保健師派遣 1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・(静岡県経由) 毛布1,000枚、簡易トイレ70台、小児用おむつ1,900枚 成人用おむつ120枚 ・茨城県東海村 毛布200枚、保存水600リットル、ブルーシート150枚、 サバイバルプーズ16,620食 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅 10戸(0戸:0人) ・雇用促進住宅 140戸(6戸:16人) ・市内ホテル旅館等 10箇所438人(0人) ・個人、親戚等の受入 (7世帯:28人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国原子力発電所 所在市町村協議会 災害支援見舞金 600千円 ・市議会 140千円 (議員個人義援金160千 円と合算し300千円) ・教育委員会 50千円 	<ul style="list-style-type: none"> 支援対策本部 H23.3.25 開設 義援金:8,093千円 (H23.4.13現在)
菊川市	第4、8陣 各1名	予定していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県内(総務省消防庁からの要請) 緊急消防援助隊 延べ22人 ・宮城県内(日本下水道協会からの要請) 下水道室職員 1名 派遣期間:4/5～4/11 ・宮城県内(厚生労働省からの要請) 保健師 1名 派遣期間:4/11～4/15 ・岩手県内(厚生労働所からの要請) 菊川病院から医師3名、看護師3名、薬剤師1名、保健福祉師1 名、事務職員2名 派遣期間:4/26～4/30 ・岩手県内(静岡県危機管理課より要請)職員1名 派遣期間 4/14～4/22 	<ul style="list-style-type: none"> ・(静岡県経由) 毛布1,000枚、簡易トイレ20台 アルファ化米5,000食 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間住宅 110戸(0戸) ・雇用促進住宅 97戸(0戸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公費:5,000千円 ・市議会:350千円 	<ul style="list-style-type: none"> 支援本部 H23.3.17 開設 ・寄託金:5,305千円
牧之原市	第3、8陣 各1名	予定していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県内(総務省消防庁からの要請) 緊急消防援助隊6人 ※牧之原市御前崎市広域施設組合消防本部 ・県からの要請 保健師1 	<ul style="list-style-type: none"> ・(静岡県経由) アルファ化米4,450食、飲料水1,680リットル ・(静岡県経由) 毛布1,000枚、簡易トイレ100個 ・(静岡県経由) 非常食4,500食、飲料水1,680リットル ・(福島県南相馬市へ市職員らが直接訪問) 軽油4000リットル、灯油3000リットル、マスク1万枚、緑茶ペットボトル240本、リーフ茶10キロ ※吉田町と合同実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県営住宅 56戸(2戸) ・雇用促進住宅 64戸(0戸) ・住宅提供 23戸(0戸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員互助会:500千 円 	<ul style="list-style-type: none"> ・義援金:5,868千円
森町	第10陣 1名	・県の支援体制に協力することとして いるので、全国町村会からは、 情報提供のみで要請は行わない。	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県内(総務省消防庁からの要請) 消防職員5名(救急隊・後方支援隊として)派遣。その後、派遣職 員を6名に増。7次隊40名(4月1日をもって終了) ※袋井市森町広域行政組合 ・(日本看護協会からの要請) 看護師3名を2回に分け、1週間ずつ派遣 ・岩手県内(静岡県からの要請) 保健師1名を派遣予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・(静岡県経由) アルファ化米、乾パン 4,500食 ・(静岡県経由) 毛布1,000枚、仮設トイレ20基 	<ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅 9戸(1戸) ・雇用促進住宅 3戸(0戸) ・民間住宅 1戸(0戸) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公費:未定 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社義援金 2,000千円(概算) (うち森町職員440千円) ・森町社会福祉協議会 毛布198枚を県ボランティア協会へ